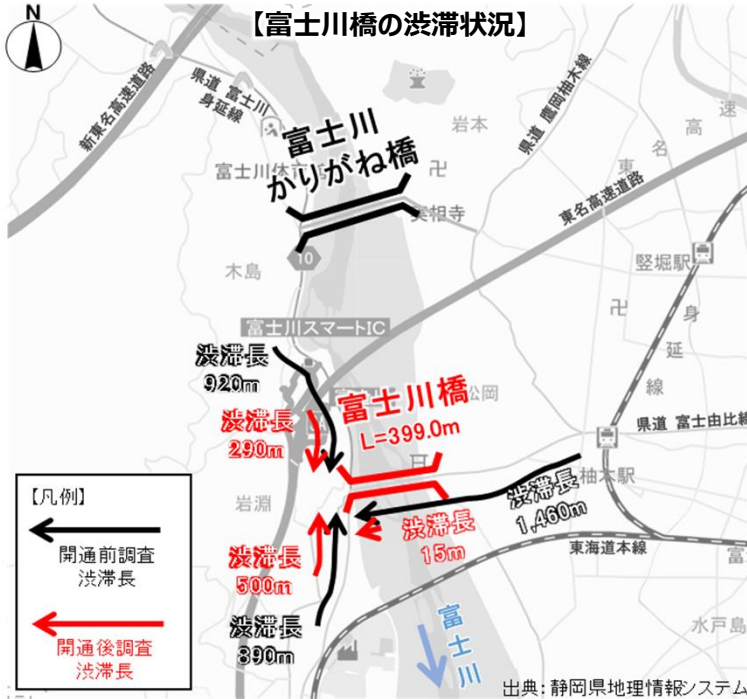


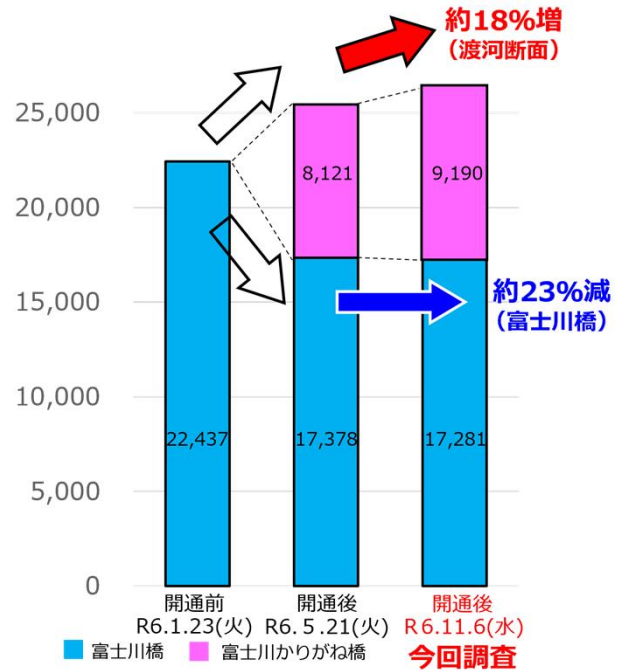
富士川かりがね橋開通後の交通状況について

●交通状況

- ・開通から約半年が経過し、**富士川橋の渋滞長の減少効果が継続**
- ・開通前と比べ、**富士川橋の交通量は約23%減少、富士川渡河断面の交通量は約18%増加**



【富士川渡河橋梁の交通量（台/日）】

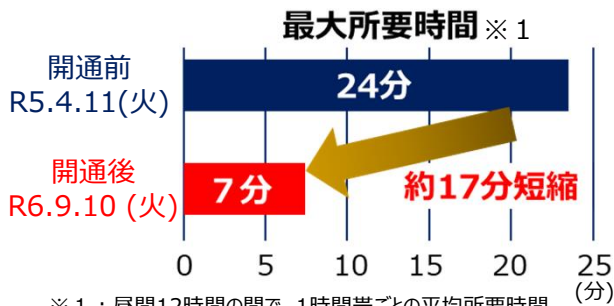


●所要時間・旅行速度

- ・富士本町交差点から富士川橋西交差点までの**所要時間が、開通前の最大24分から、開通後、約7分に短縮（約17分減）**
- ・橋下交差点から富士川橋西交差点までの旅行速度が開通前は、朝夕の旅行速度が20km/h未満であったが、**開通後は、概ね30km/h以上に改善されている。**

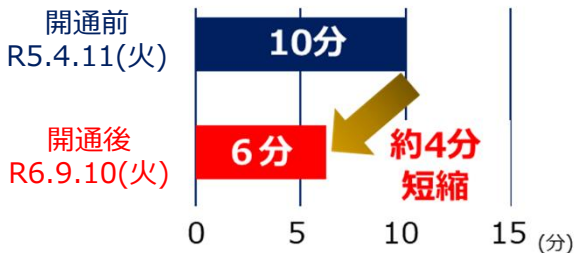
※ETC2.0プローブデータ分析結果（静岡国道事務所提供）

【富士川橋西交差点←富士本町交差点
所要時間（西向き）】



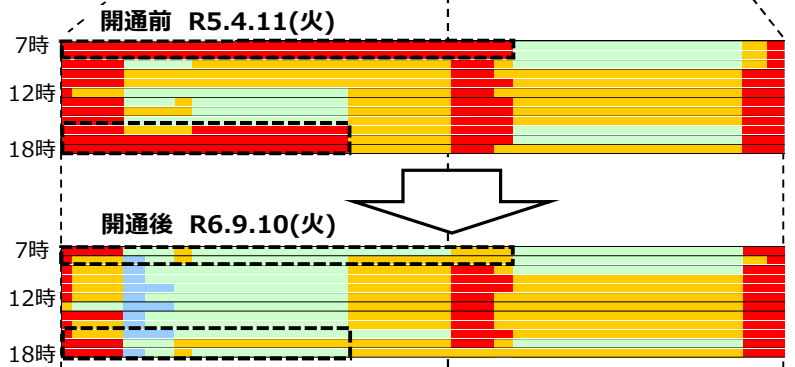
※1：昼間12時間の間で、1時間帯ごとの平均所要時間のうち、最大の所要時間

平均所要時間 ※2



※2：昼間12時間（午前7時～午後19時）平均旅行速度から算出した所要時間

【富士川橋西交差点←富士本町交差点
旅行速度（西向き）】



【凡例】

- : ~20km/h
- : 20~30km/h
- : 30~40km/h
- : 40km/h~
- : 旅行速度が改善した区間・時間帯

富士川かりがね橋の開通効果について

● 救急搬送

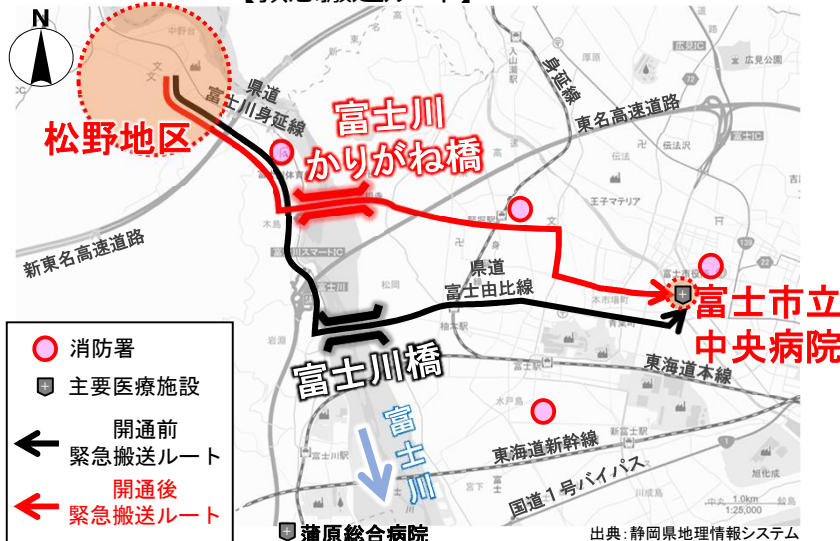
- ・ 富士市立中央病院への平均搬送速度が、開通前に比べ、約15%上昇。救急車両のスムーズな通行が可能となり、搬送患者の負荷が軽減
- ・ 松野地区など旧富士川町北部からの救急要請に対し、対岸の消防署からも迅速な対応が可能に

富士市消防本部のコメント

- ・ 富士川橋は幅員が狭く、渋滞しているとスムーズに緊急通行ができなかったが、富士川かりがね橋を通行することで、緊急通行ができるようになった。
- ・ 橋が開通したことで、松野地区からの救急要請に対し、出発基地の選択肢が増えた。

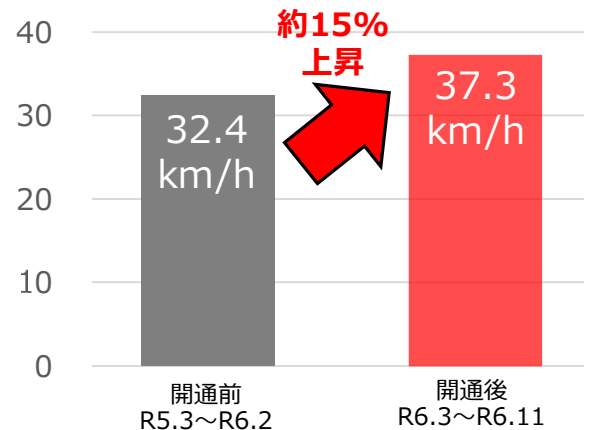


【救急搬送ルート】



【救急搬送速度】※1

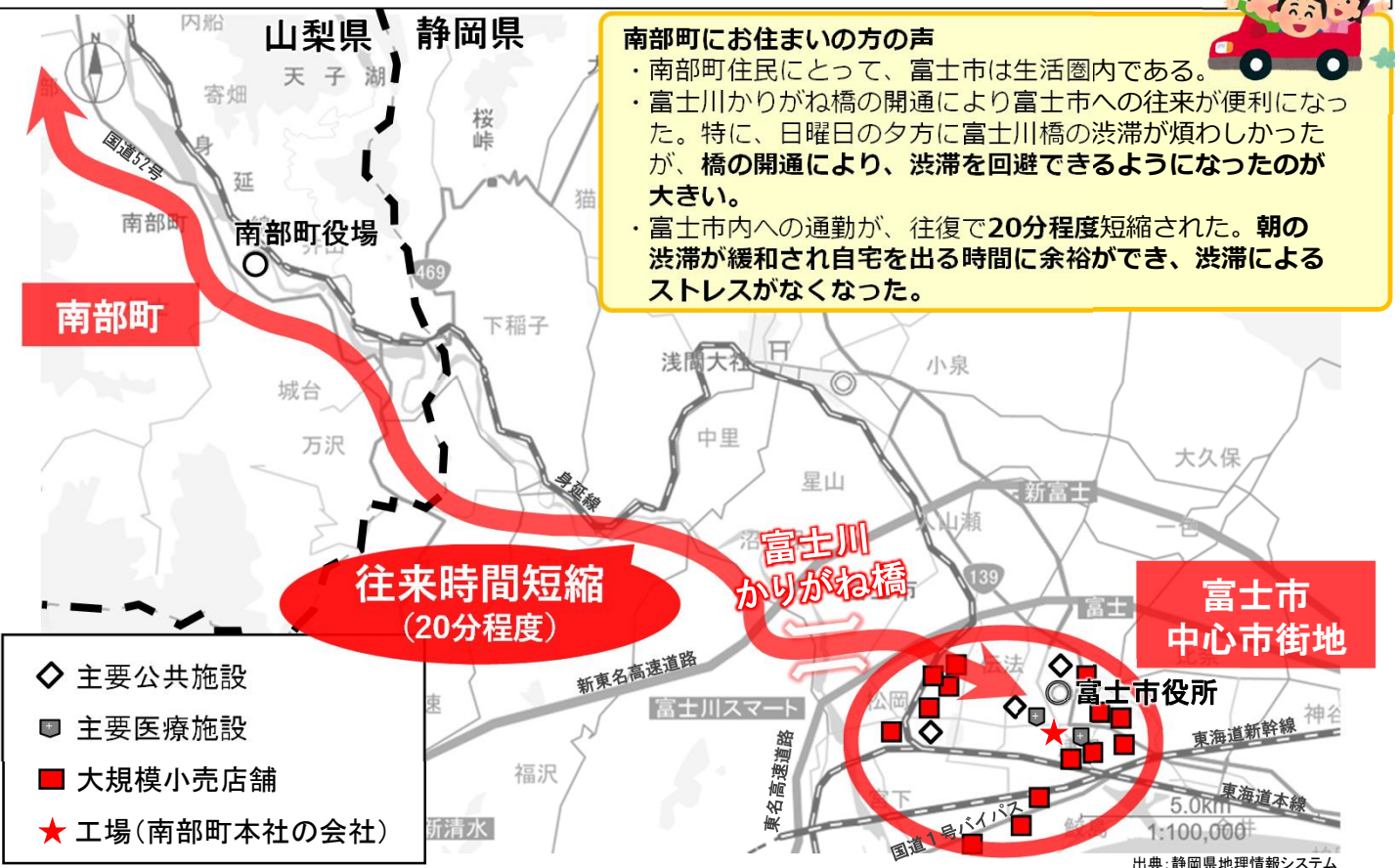
(富士市松野地区～富士市立中央病院)



※1：富士市消防本部 出動運行記録に基づく、16時から18時までの平均速度

● 県外への波及効果

- ・ 富士市内の商業施設などへの往来が多い山梨県南部町にお住まいの方の生活の利便性が向上
- ・ 南部町から富士市内への通勤の利便性が向上



富士川かりがね橋の開通効果について

● 自転車・歩行者の移動環境

- ・ 通行帯を区分し、**歩行者・自転車の安全な通行空間を確保**
- ・ 橋の上で、富士川などの自然を体感できるなど、徒歩や自転車で通行し、楽しむことができる環境を創出

利用者のコメント

- ・ 部活で富士川体育館を利用しているが、富士川かりがね橋を使うことで一直線（最短）で体育館へ向かうことができ、移動時間が10分程度短くなり、移動が楽（便利）になった。
- ・ 富士川橋は、車道部も歩道部も狭く、自転車では怖かった。
- ・ きれいな橋ができて、散歩していて気持ちよい。



【自転車移動ルート例】

【自転車歩行者道の様子】



【富士川かりがね橋幅員】

